



## 新年を迎えて 一夢は大きく

新たな年を迎えました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。一方、新型株の拡大が懸念されるなか、皆様にはご心配をおかけしますが、確実に一歩ずつ教育活動を進めてまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、人は誰しも、新年のこの時期には清新な気持ちになります。初詣に行く方は、これから始まる1年を展望しながら、手を合わせて夢を描いたりするものです。この絶好の機会を子どもたちにも大切にさせたいと思います。この際、夢を大きくもつことを改めて推奨していきます。夢は目標であり、夢を実現させるためには努力が必要です。夢が大きければ大きいほど、その実現のために必要となるエネルギーも大きくなります。子どもたちが自分の夢を実現させようとするエネルギーは、子どもの成長に好ましい影響を及ぼします。目標が大きければ大きいほど、子どもは自ら、その夢を実現するためのエネルギーを生み出すことにつながるのです。

3学期の始業式では、子どもたちに1年前の新年に描いた夢や目標の実現状況について問いかけました。夢や目標を立てた以上は、それが実現できたのか、あるいは実現できなくても、どこまで到達できたのかを振り返ることは、とても教育的な意味があると思います。それは、努力した自分を自覚させることを通じて、自分自身を価値ある存在であると思うことにつながるからです。このことを自尊心や自己肯定感という言い方をします。

成長期の子どもたちにとって、成功体験も大切ですが、未達成だったり失敗したりした体験も現実にはあります。しかし、自分の努力を自分で認めることができると、自分自身を価値ある存在として認識することにつながります。成長する過程において、このような体験を積み重ねることは、豊かな人生の実現へのステップであると思います。

教職員も一丸となって、すべての子どもが安心して学べる魅力的な学校づくりを進め、困難な状況にあっても自らの力で未来を切り拓く子どもたちを育てていきます。なにとぞご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



## PTA講演会 1月26日(水)

演題 『やる気』の出し方・出させ方  
 一科学的にみれば見えてくる本当のやり方一  
 講師 中川 順博 (なかがわ よしひろ) 氏



学習参観後、2年ぶりのPTA講演会を開催します。前神照小学校長であり、現在も長浜市陸上スポーツ教室の代表として子どもたちの健全育成にご尽力されている中川順博先生をお招きし、「『やる気』の出し方・出させ方」についてお話を伺います。『やる気』を出す・出させるためには、一つずつステップ(段階)を踏むことが必要です。そのステップの仕組みやそのための基礎となる人間の思考の仕組みを説明し、やる気の出し方・出させ方を教えてください。ご家庭と学校が共に学び合う機会にしたいと思います。

# 自分からあいさつしよう（1月の生活目標）



始業式の日も、子どもたちは元気よくあいさつをしてくれて、とても気持ちよくなりました。お辞儀の姿勢も美しいです。しかし、学校評価から、家族や地域の方にはあいさつができていない子がいることがわかります。たしかに、あいさつは、恥ずかしかったり、照れくさかったりすることもあるでしょう。でも、あいさつすることによってお互いのかかわりを大切にし、お互い気持ちがよくなるものです。学校では、自分からあいさつすることを目標に取り組んでいきますので、ご家庭や地域でも、あいさつの励行、ご指導をよろしくお願いいたします。

## 本年度の語彙調査を実施します

1月12日より、全校児童を対象に語彙調査を実施します。1年生児童は、6月に語彙調査を実施し、2年生以上の児童は前年1月に実施しています。今回は、この1年間（1年生は約7ヶ月間）にどれくらい語彙力が伸びたかを数値化し、その結果をお伝えします。語彙力とは、「その子がもっている言葉の知識と、それを使いこなす能力」で、話を聞いて理解する力、相手に伝える力、思考を深める力につながり、学ぶ力の根幹となる力です。

本校では、新学習指導要領で示されている「生きる力」を育むために「豊かな言語活動」を教育活動の重点とし取り組んでいます。教科の学習だけでなく、読書活動、詩の暗唱、子ども新聞を活用した学習、集会でのスピーチ等を通し、その根幹となる語彙力を鍛えています。その伸びを把握し、教育活動の評価・改善に役立てていきたいと考えております。どうぞご理解のほど、よろしくお願いいたします。



## 保護者や学校関係者等のみなさまへ

冬休み明けには、児童生徒等の自殺者数が増加する傾向にあり、不安や悩みを抱える子供たちが増えることが考えられます。

- ・ これまでに関心のあった事柄に対して興味を失う
- ・ 成績が急に落ちる
- ・ 注意が集中できなくなる
- ・ 身だしなみを気にしなくなる
- ・ 健康管理や自己管理がおろそかになる
- ・ 不眠、食欲不振、体重減少などのさまざまな身体の不調を訴える

保護者や学校関係者、地域のみなさまにおかれましては、こうした子供の態度に現れる微妙なサインに注意を払っていただき、子供たちの不安や悩みの声に耳を傾けていただくとともに、学校、家庭、地域、関係機関等で緊密な連携体制を築いていただきますようお願いいたします。

令和4年1月  
文部科学大臣 末松 信介